

2022年4月6日

CSR デザイン環境投資顧問株式会社

代表者名 代表取締役社長 堀江 隆一

## PCAF 日本事務局就任について

CSR デザイン環境投資顧問株式会社（代表取締役社長 堀江 隆一 以下当社）は、このたび、金融機関の投融資を通じた温室効果ガス排出量(GHG)を計測・開示に関する国際イニシアティブ「Partnership for Carbon Accounting Financials (以下、PCAF)」の日本事務局に就任しました。当社は、2021年11月に発足した「PCAF Japan coalition」（議長 株式会社みずほフィナンシャルグループ）と密接な連携を取りつつ、本邦金融機関への情報提供とPCAF グローバル事務局への働きかけを通じ、日本国内におけるPCAFの発展と展開に貢献します。

PCAFは2015年に欧州金融機関を中心として発足した、炭素会計に関する国際的なパートナーシップであり、投融資ポートフォリオにおけるGHG排出量を計測・開示する手法を開発しています。2022年4月現在、世界49カ国以上から244、日本からは17の金融機関が加盟し、ヨーロッパ、北米、中南米、アフリカ、およびアジア太平洋地域でネットワークを拡大しており、当社の日本事務局就任もこの拡大の流れを受けたものになります。

なお、PCAFでは2020年11月に金融機関向けに投融資のGHG排出量の計測・開示に関するグローバルな基準（スタンダード）を発表しています。2022年4月時点で公表されているスタンダードは上場株式・債券、融資・非上場株式、商業用不動産、自動車ローン、プロジェクトファイナンス、住宅ローンの6つのアセットクラスが対象ですが、今後、他のアセットクラスのスタンダードが公表される予定です。また、不動産アセットクラスに関するスタンダードの活用に関しては、不動産セクターのESG配慮を測る年次評価であるGRESBと、EUの支援の元発足したCRREM（Carbon Risk Real Estate Monitor）プロジェクトがPCAFとのパートナーシップを締結しています。

2050年の脱炭素社会およびネットゼロの実現に向けた機運は益々の高まりを見せており、金融機関が投融資ポートフォリオのGHG排出量を計測・開示し、継続的な削減を促進する重要性もこれまで以上に高まっています。当社はPCAF日本事務局として、本邦金融機関への情報提供を行うとともに、PCAFグローバル事務局に対して日本固有の状況の共有を行うことで、日本国内におけるPCAFの展開・発展を支援します。

以上

#### **CSR デザイン環境投資顧問株式会社：**

CSR デザイン環境投資顧問株式会社は、不動産・インフラなどの投資・運用における環境・社会・ガバナンス（ESG）面での助言業務や、環境不動産・サステナブル金融に係る国内外の政策・投資家動向についての調査研究業務を行う、独立系コンサルティング会社/シンクタンク。不動産・インフラの ESG 指標としてグローバルに普及する GRESB の日本市場における推奨アドバイザーを務めるなど国内外の不動産業界における ESG 動向に精通しており、また、令和 2 年度には環境省が設置する「ポジティブインパクトファイナンス・タスクフォース」の事務局を担い、「インパクトファイナンスの基本的考え方」「グリーンから始めるインパクト評価ガイド」の取りまとめにも関わった。代表取締役社長の堀江隆一は責任投資原則（PRI）ジャパンネットワーク・アドバイザー委員会メンバーを務めるほか、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）不動産ワーキンググループ顧問として、「ポジティブ・インパクト不動産投資フレームワーク」の開発にも貢献し（現在は同グループの活動を引き継ぐ PRI 不動産アドバイザー委員会のメンバー）、国内においても国土交通省や環境省の環境不動産・ESG 投資関連の委員会の座長や委員を歴任している。

#### **問合せ先**

CSR デザイン環境投資顧問株式会社

住所：東京都千代田区九段南 2-4-13 九段光ビル 3 階

電話：03-5213-4830 / E メール：gia@csr-design.com